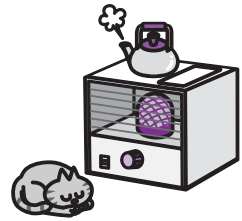


むらの 話 題



地域のお話をお待ちしています
 ©総務課・広報係
 ☎029-885-0340内線205

地域交流館みほふれ愛ブラザ 建築事業がグリーンリボン賞受賞



10月11日、茨城県うるおいのあるまちづくり顕彰事業」の平成29年度受賞者が発表され、地域交流館みほふれ愛ブラザの建築事業を行った美浦村、つくば建設設計事務所株式会社、松浦・細谷特定JVが「まちづくりグリーンリボン賞」を受賞しました。

この事業は茨城県が実施している「うるおいのある景観や優れた住環境の整備等まちづくり」に功績のあった方が表彰されています。みほふれ愛ブラザは村のキャッチフレーズ「人と自然が輝くまち」を象徴する施設として、子育て施設、地域産品直売所等が一体となった多世代交流施設であり、地域交流および村民サービスの拠点として建築されました。こうしたまちづくり方針や建築に至った過程、多機能的な施設等総合的に評価され表彰に至りました。受賞はとても光栄で喜ばしいことですね。

民生委員が活動をPR!



10月22日、縄文の森コンサート会場で、民生委員・児童委員が活動についてPRを行いました。民生委員・児童委員は「誰もが笑顔で、安全に、安心して暮らせる社会づくり」のために、身近な相談相手となり、各行政機関とのつなぎ役を担っています。

地区対抗女子バレーボール大会



10/29 農林漁業者トレーニングセンター

- 優勝 美駒
- 準優勝 下舟子
- 第3位 興津

- 最優秀選手 原田 由美(美駒)
- 優秀選手 佐藤 修(下舟子)

※ルール改正により男子も3名まで参加可

消防ポンプ操法競技大会 で第4分団が第3位!



10月15日、稲敷市役所駐車場にて「第68回茨城県消防ポンプ操法競技大会」が開催されました。美浦村からは第4分団(信太・興津地区)が小型ポンプ操法の部に出場し、竜ヶ崎市の各代表消防団を相手に消火作業に必要な動作の正確性・迅速性等を競い合い、第3位に入賞しました。

約4カ月間、平日仕事を終えた後の夜間や休日には厳しい訓練を重ねてきた第4分団選手の方々は、当日の悪天候にも関わらず、その練習の成果を発揮しようと全力で競技に挑み、団員が一致団結し見事な成績をおさめることができました。皆さん、お疲れさまでした。

地元産の花で アレンジ教室開催



10月19日、地域交流館みほふれ愛プラザにおいて、地元産のドライフラワーを使ったアレンジ体験教室が開催されました。

このアレンジ教室は、みほふれ愛プラザの直売所の活性化と花の6次産業化の推進を目的としており、稲敷地域農業改良普及センターの職員が講師となり、ケイトウやヒヤクニチソウ等の地元で生産した花をドライ加工したものを花材として使用し、リース等に参加者と一緒に作りました。

当日は約20名の参加があり、参加者はアレンジ体験を通じてドライフラワーの魅力を存分に感じることができました。

今後も様々なイベントに合わせたアレンジ教室の開催が予定されているそうです。

美浦中科学部が水質調査



11月5日、木原地内において美浦中科学部が農業用水路や霞ヶ浦等の水質調査を実施しました。

今年で11年目となるこの調査は、木原土地改良区が行う農業者と非農業者が一体になって実施する水路や農道の保安全管理のほか、遊休農地発生防止のための活動の一環として行われているもので、当日は子ども会とともに農業用水路や霞ヶ浦の水をくみ上げ、色やにおい、水に含まれる成分等の調査をしました。

ジュニア体操育成大会入賞!



10月29日、ジョイナスみほ体操クラブが笠松運動公園にて開催された「茨城県ジュニア体操育成大会」に出場しました。

初めて大会に出場した選手、参加クラスのレベルを上げて大会に臨んだ選手、それぞれ目標を達成すべく挑戦し、中級女子団体総合3位、個人総合、種目別でも男女ともに入賞を果たすことができました。ジョイナスみほ体操クラブの今後ますますの活躍が期待されます。

金婚を迎えたご夫婦に褒状贈呈



門脇厚司さん 艶子さんご夫婦

11月9日、めでたく結婚50周年である金婚を迎えられたご夫婦のお宅へ、村長と村社会福祉協議会事務局長が訪問し、お祝いの言葉とともに村社会福祉協議会からの褒状と記念品を贈りました。

訪問した11組のご夫婦のうち、門脇厚司さん・艶子さんご夫婦にお話をうかがいました。金婚を迎えてみて、「初めて出会ってからは約60年になるが、この人と一緒になれば不幸になることはない」と思い、当時学生であったが結婚を決めました。「と厚司さんは言い、艶さんは「夫はケガ等が多かったが、信じる気持ちを持ってここまで頑張ってきました」と語ってくれました。相思相愛という言葉が似合うご夫婦でした。それぞれの自宅で、村長らを笑顔で迎えてくださった皆さん。談笑する中で、これまで支え合った50年を顧みていらっしやいました。このたびは金婚おめでとございます。

金婚を迎えられたご夫妻

《順不同敬称略》

- ・三浦 満義 / 美智子
- ・栗山 三郎 / 美智子
- ・佐藤 昭夫 / 玲子
- ・正慶 光正 / あきら
- ・門脇 厚司 / 艶子
- ・菱木 邦也 / 千賀子
- ・谷口 富壽 / 敦子
- ・小野木 照夫 / 幸子
- ・菅谷 邦夫 / 五十鈴
- ・堀館 守 / よし子
- ・軽部 晃 / 幸枝

陸平縄文の森コンサート・俚謡大会表彰式を行いました！

10月22日、野外での第20回陸平縄文ムラまつりは残念ながら台風による大雨で中止となり、文化財センターで縄文の森コンサートのみ開催しました。

コンサートはこれまで長く交流を続けている長野県長和町で黒耀石のふるさと親善大使をつとめる葦木啓夏さんが素敵な歌声を披露。観客の皆さんも一緒に参加する場面や、安中地区の昔物語にちなんだ寸劇があり、みほ一歩も登場して楽しいひとときとなりました。

まつり当日に行われる予定であった俚謡コンテストについては、11月14日に役場本庁にて表彰式が行われ、受賞者に表彰状と副賞、日和吟社から受賞作品の色紙が送られました。たくさんのご応募ありがとうございました。応募作品は文化財センターに展示しています。

【俚謡コンテスト結果】

- ◎日和吟社賞 佐藤花音さん
歩く二人の 紅葉(もみじ)の道は 君とおなじ 頬の色
- ◎陸平賞 塚本博美さん
青い秋空 笑顔の子ども 響く祭りの わらべ歌
- ◎中学生の部 塚本美鈴さん
紅葉(もみじ) 稲刈り 栗・柿・ぶどう 心わき立つ 秋景色
- ◎小学生の部 飯田隼輝さん
焼いたさんまに だいこんおろし そえておいしい ばんご飯



【素敵な縄文服ができました！】

陸平縄文ムラまつりの縄文服コンテスト用に作った安中小学校児童の作品を紹介します。色や模様を工夫しながら一生懸命作りました！

◎12月1日(金)～平成30年1月14日(日)まで6年生の縄文服を文化財センターに展示します。

みほ文芸

正調俚謡 日和吟社 折句「すすき」病句禁

好いて好かれてすんなり添うて気兼ねいらすの新所帯
過ぎた労働ストレス社会きつい日々でも朝は来る
捨ててしまおか捨てたくないが着たい着れない憎き腹
好いて好かれて水魚の思い刻む夫婦の俚謡日記
過ぎた苦労はすっぱり忘れ今日の幸せ喜寿の宴
澄んだ瞳の素直な子らに希望かなえる国づくり
好きな美浦村住み家と決めて希望でっかい夢を抱く
裾に広がるすすきの柄の着物着る度惚ぶ母
好きなビールも西瓜もこらえ胡瓜かじって過ぎた夏
澄んだ青空清しい空気分さわやかハイキング
澄んだ星空すず虫の声聞けば思い出走馬灯
住めば都と住まいを美浦に決めて越したる終の家
すぐと言ったがすぐには逝けぬ君によく似た女なんだ
好きと言えずにすねてはみたが君はきづかず今は友
すでに秋めき涼しくなった今日は祭りの音合わせ
住んでみたいいな少しの間京の都で雪月花

十一月の俳句(題 当季雑詠)

白樺を流る風音霧の音
錦秋やつくばの山は湖抱く
常陸路に白く煙るは蕎麦の花
健脚の人うらやまし美浦の秋
健やかに老いて倅せ菊に佇つ
銀杏踏み匂ひまみれの子が帰る
吊るし柿日あたり受けて頬染めし
朝日射す広き刈田やはしやく犬
樟脳の香りを着込む今朝の冷え
神の留守気長に待ち居る昔し人
列車待つ肩から肩へ蝗とぶ
秋深し温もりこぼる木のすき間

飯塚筑風
石戸葎華
山口老路
小蘭江久美
田島草実
沼寄朋香
篠原美千代
上野八千代
山口老路
伊藤葉子
門脇悠美
長谷川悦子
山崎笑子
関根秀子
武田かずお
小池きよし
(五十音順)
青野安佐子
石毛恵美子
海道民子
木澤はしめ
高柳幸子
田島早苗
中島輝子
長田敏笑
松本秀子
松葉よしの
宮崎きみ枝
矢原はつひ

第40回 みほ産業文化 フェスティバル



みほ産業文化フェスティバルが、11月2日～19日の日程で例年以上に盛大に開催されました。

開催期間中の公民館内には、日頃の活動の成果としてさまざまな作品が展示されたほか、11月3日には趣向を凝らした模擬店や華やかなステージ発表等が催されました。今年は会場を地域交流館みほふれ愛プラザにも拡大し、陸上自衛隊武器学校の協力により装備車「87式偵察警戒車」の展示やアイドルグループのコンサート等も開催されました。

他にも音楽フェスティバル、俚謡大会等、たくさんの方が会場を訪れ、文化の秋を楽しまれたようでした。

参加者・来場者・協賛者の皆さん、ご協力ありがとうございました。

